

# タイ国EEC-大阪市に関する都市間連携

- ・ 大阪市とタイ・東部経済回廊(EEC)は、タイ政府が掲げる国家成長戦略であるタイランド4.0への貢献を目指すと共に、多くの本邦企業との連携を図ることで、「**タイランド4.0実現に向けた脱炭素社会形成支援業務**」を目標に掲げ、2019年10月から脱炭素社会実現のための都市間連携を実施している。
- ・ 本都市間連携では、**先進的な取り組みを積極的に進めているEEC地域**へのニーズに対し、**脱炭素社会形成に向け、技術や製品の普及展開だけに限らず、様々な取り組み**を進めている。

## タイ王国・東部経済回廊(EEC)

- EECは、タイ王国における**タイランド4.0を実現する国家戦略の中核地域**である。
- タイは、農業が盛んであり、バイオ技術に強みがある。そのため、EECでは2021年より**BCG（バイオ・循環型・グリーン）経済を重点戦略**とし、活動を進めている。EECでは、国内外の産業誘致を積極的に進めると共に、タイ政府が抱える様々な脱炭素政策・計画を実現させるための税務恩典などを積極的に進めている。



※ タイランド4.0とは、産業構造の高度化による所得増加を目指す国家戦略。

※ EEC地域は、タイ王国におけるタイランド4.0の実施を行うための国家戦略の中核地域バンコク都の東部チャチュンサオ、チョンブリ、ラヨンの3県で構成。そのため、本都市間連携では「都市相当」として取り扱っている。

## 大阪市

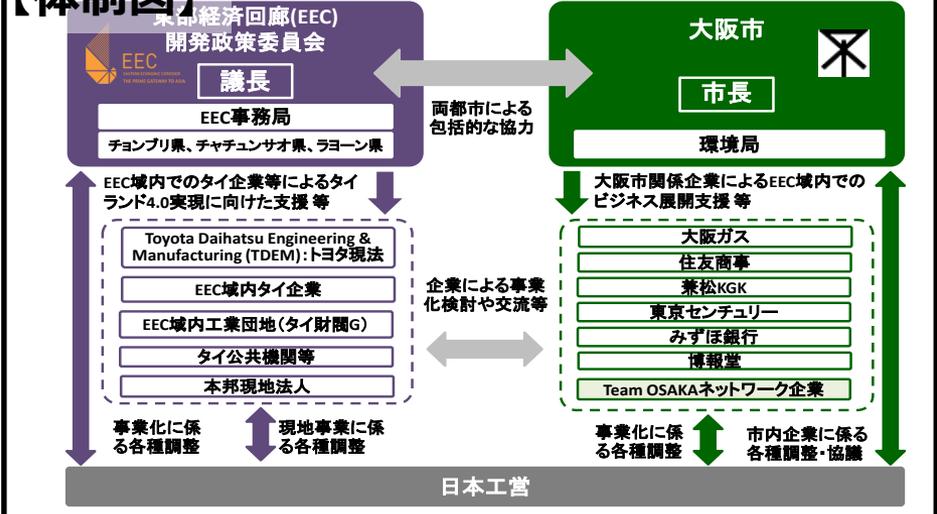
- 大阪市は、2021年5月、地球温暖化対策実行計画[区域施策編]を公表し、**2050年のGHG排出実質ゼロを表明**している。
- 2021年7月、大阪市は、大阪府と共同提案により、「**SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業**」に選定された。2030年の或るべき姿に向け、市民がSDGsを意識し「SDGs先進都市」の実現をめざしている。



- 大阪市は、産学官のより効果的な連携を図るため、「**Team OSAKAネットワーク**」を立ち上げ、省エネ・再エネ技術を持つ企業を中心にアジア等の都市における脱炭素化社会の実現を支援している。

# タイ国EEC-大阪市に関する都市間連携

## 【体制図】



## 【事業活動・成果】

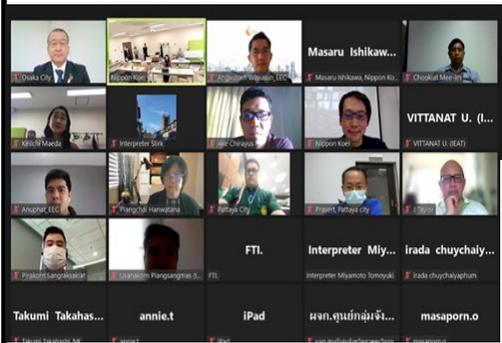
### <都市間連携活動>

- ▶ **Team OSAKA ネットワークを活用した企業紹介**： EECでの脱炭素化を支援するべく、現地ニーズに応え得る在阪企業等を紹介、案件形成を進めた。
- ▶ **環境施策に係るノウハウの共有**： 大阪市が有する環境施策や、脱炭素化に向けた取組事例等を紹介。EECへの更なる発展に向け意見交換を実施。
- ▶ **タイ版脱炭素ドミノを実現するための活動**： EEC地域3県への展開を想定し、脱炭素ドミノに係る情報共有を実施。今後、更なる展開を図る。
- ▶ **連携協定覚書(MOU)の準備/締結**： 両都市の更なる連携を強化するためMOUの締結を進めた。

### <JCM案件形成>

- ▶ **衣料品製造工場への高効率貫流ボイラの導入**： 石油燃料を使用する工場に対し、天然ガスへの転換を図り、JCM設備補助事業としての採択を受けた。
- ▶ **地産地消型電気自動車 (EV) 普及事業**： 乗合タクシーのEV事業化等を検討した。
- ▶ **バイオガス精製技術の導入普及事業**： 各所で利用されるバイオガスの精製を進めることで良質なガス共有を進めると共に、JCM事業化の検討を進めた。
- ▶ **その他、省エネ/再エネ事業等の検討**： 工業団地等におけるJCM案件化を検討した。

## 【写真】



大阪市・EECとのオンラインワークショップの風景



JCM設備補助事業の図